

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 1 市民主体の協働により、みんなで幸せを実感できるまちに ～地域経営の推進～
 重点的取組 2 協働でまちづくりを進める

担当課名	自治振興部 協働推進課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
目	目	06	企画費

事業名	協働推進事業	事業開始年度	平成 24 年度
	市役所内部、市民と市役所における協働によるまちづくりの理念共有と実践	根拠法令 条例 個別計画等	協働によるまちづくり基本条例、協働によるまちづくり推進計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	・市民（通勤・通学者や事業者、活動団体、廿日市市内でまちづくりに関わる市外の人・団体を含む） ・行政	協働によるまちづくりを進めるためのルールブックとして、平成24年度から施行した「協働によるまちづくり基本条例」を、市民と行政が共有することにより、それぞれが自らの役割を認識し、資源をつなぎ生かしながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組むことができるようになる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	市民	協働によるまちづくりの理念共有と実践

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

第5次総合計画に掲げる経営理念「魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち」を大切にまちづくりを進めるために、協働によるまちづくりを推進した。

・協働によるまちづくりを実効性のあるものとし、まちづくりの実情に的確に対応させるため、協働によるまちづくり審議会において、廿日市市協働によるまちづくり推進計画に掲載している事業の進捗について審議した。

・地域や市役所内における協働を促進するため、職員研修や、地域住民自治組織の情報交換の場の提供、多様な主体がつながるネットワークづくりに関する業務を実施した。

【歳入】

ふるさと創生基金繰入金69,000 円

【歳出】

審議会運営（委員報酬等）151,000 円

地域協働推進員（報酬等）2,513,720 円

地域貢献活動保険料699,520 円

まちづくり交流会実施業務委託料168,260 円

情報交換会実施業務委託料215,767 円

職員研修実施業務委託料304,530 円

地域協働推進業務委託料2,602,800 円

その他事務費（消耗品費、設備修繕料等）96,077 円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	7,417,040	6,751,674		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)	10,000	69,000		
	市（市税など）	7,407,040	6,682,674		
人件費（按分）B		2.50 人 21,215,000	2.00 人 17,148,000		
総事業費（A+B）		28,632,040	23,899,674		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	市民1人当たり	243	204		
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	協働によるまちづくり、基本条例の説明機会（説明会、出前トークなど）		10	20	12	20	
	上記（説明会、出前トークなど）への参加人数	回	430	300	353	300	
	「市民と行政の協働のまちづくり」の満足度	ポイント		—		3	基本構想と整合